



最近の信用金庫の地区別業種別貸出動向

視点

信用金庫の貸出金残高増加率は、コロナ禍による資金需要の急拡大を受けて急上昇し、その反動による急低下を経て下げ止まる気配をみせている。その背景として、どのような業種向けの貸出が全体の増加率を支えてきたのか。全国ベースでみて信用金庫と国内銀行にはどのような共通点、相違点があるのか。また、信用金庫の地区別でみるとどうなのか。本稿では、貸出金残高全体の増加率に対する業種別寄与度のこの1年の動向を確認する。

要旨

- 低下傾向をたどってきた全国信用金庫の貸出金増加率（以下、本稿での増加率は末残の前年同月比。）は、最近は下げ止まりつつあり、2022年6月末時点では0.1%のプラスとなっている。ただ、不動産業と住宅ローンにより押し上げられている部分が多い。
- 一方、国内銀行の貸出金増加率（以下、本稿での国内銀行貸出金末残は銀行勘定、信託勘定、海外店勘定の合計ベース。）は上昇傾向にあり、2022年6月末時点では3.0%となっている。住宅ローン、金融業・保険業、不動産業、海外円借款・国内店名義現地貸などが全体の伸びを押し上げている。
- 信用金庫の2022年6月末の貸出金増加率を地区別にみると、北海道、関東、北陸、四国、南九州の5地区では、同年3月末比の増加率を上回っている。
- 不動産業と住宅ローンは、全国と同様に多くの地区で足もとの貸出をけん引している。寄与度の絶対値で上位8業種に入った地区は、不動産業で8地区あり、2022年6月末の寄与度はすべてプラスとなった。住宅ローンも、8地区で上位8業種に入り、東京と北陸以外の6地区で寄与度がプラスとなった。
- 金融業・保険業は、6地区で上位8業種に入り、いずれの地区でも2022年6月末の寄与度はプラスであった。

キーワード

信用金庫 国内銀行 貸出金増加率 業種別寄与度 地区別 不動産業
住宅ローン 金融業・保険業

目次

1. 信用金庫と国内銀行の貸出金増加率と業種別寄与度の推移（全国ベース）
 2. 信用金庫の地区別貸出金増加率と業種別寄与度の推移
- おわりに

1. 信用金庫と国内銀行の貸出金増加率と業種別寄与度の推移（全国ベース）

本稿では、最近の貸出金全体の動きに影響を及ぼしている業種を明確化するため、まず、各業種の 2021 年 6 月末から 2022 年 6 月末までの 5 時点の前年比寄与度を算出した。そのうえで、前年比寄与度の絶対値（5 時点における最大値）が大きい 8 業種（以下「上位 8 業種」という。）を特定のうえ、地区別を含めた信用金庫、国内銀行の状況を解説するとともに、図示している。また、上位 8 業種以外の業種の寄与度合計を「その他」としている。

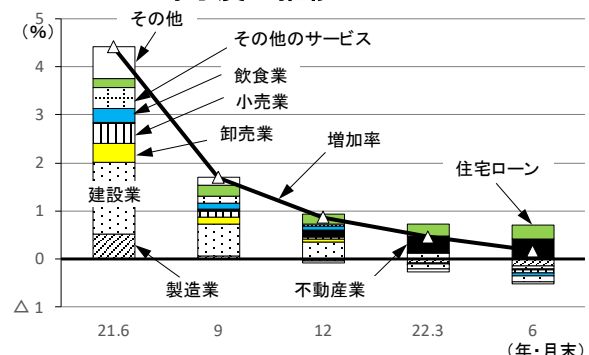
(1) 信用金庫

全国信用金庫の貸出金増加率（以下、本稿での増加率は末残の前年同月比。）は、低下傾向をたどってきたが、最近は下げ止まりつつあり、2022 年 6 月末の時点では 0.1% のプラスとなっている。ただ、業種別¹寄与度²の推移をみると、上位 8 業種とその他がプラスで寄与していた 2021 年 6 月末とは異なり、2022 年 6 月末にプラスに寄与していたのは、不動産業と住宅ローンの 2 業種のみとなっている（図表 1 参照）。

(2) 国内銀行

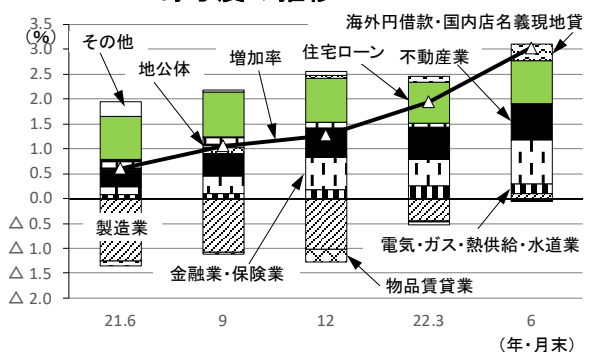
一方、国内銀行の状況は、信用金庫とは異なっている。2021 年 6 月末から 2022 年 6 月末にかけて、貸出金増加率（以下、本稿での国内銀行貸出金末残は銀行勘定、信託勘定、海外店勘定の合計ベース。）は高まる傾向にある（図表 2 参照）。2021 年 6

(図表 1) 信用金庫の貸出金増加率と業種別寄与度の推移



(備考) 1. 以下、本稿での増加率は、末残の前年同月比
2. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表 2) 国内銀行の貸出金増加率と業種別寄与度の推移



(備考) 1. 国内銀行の貸出金は銀行勘定、信託勘定、海外店勘定の合計ベース
2. 日本銀行資料より作成

¹ 業種分類の内容の詳細については、日本銀行「金融統計調査票の記入要領」を参照

² 貸出金残高増加率における区分別寄与度は、その区分の貸出金残高の期中の増加額（マイナスは減少額）によって、貸出金残高全体を何%増加させたかを示したものである。全区分の寄与度を合計すると、貸出金残高全体の増加率になる。区分別寄与度は、（その区分の貸出金残高増加率）×（前期の貸出金残高全体に占めるその区分の貸出金残高の構成比）で算出可能

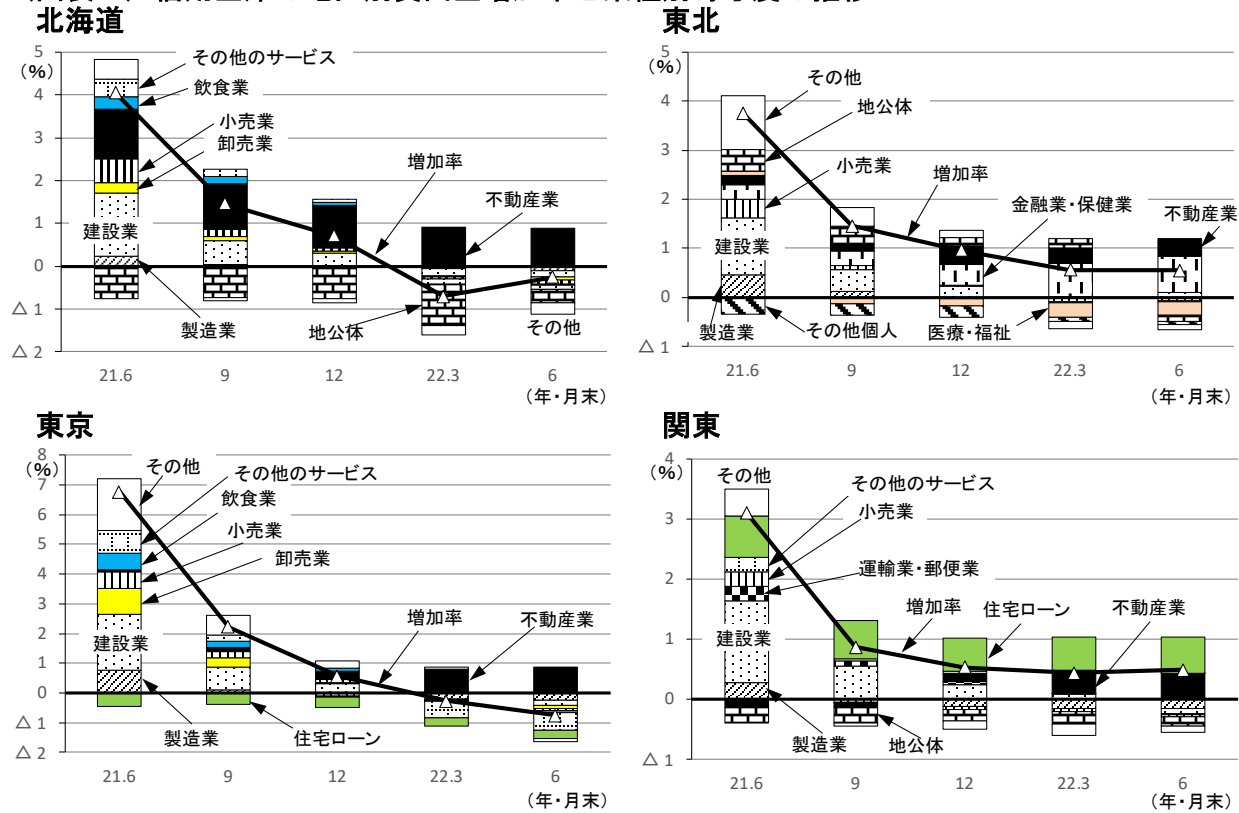
月末時点では、住宅ローン、不動産業など6業種とその他がプラスに寄与する一方、製造業の寄与度のマイナス幅が大きかった。続いて2022年6月末をみると、当初からプラス幅の大きい住宅ローンに加えて、金融業・保険業、不動産業、海外円借款・国内店名義現地貸、電気・ガス・熱供給・水道業のプラス幅も拡大傾向をたどり、製造業の寄与度もマイナスからプラスに転じている。

国内銀行の2022年6月末の貸出金増加率は3.0%と、信用金庫を上回っている。信用金庫の貸出金を押し上げている不動産業、住宅ローン以外に、前述の4業種がプラスに寄与している。

2. 信用金庫の地区別貸出金増加率と業種別寄与度の推移

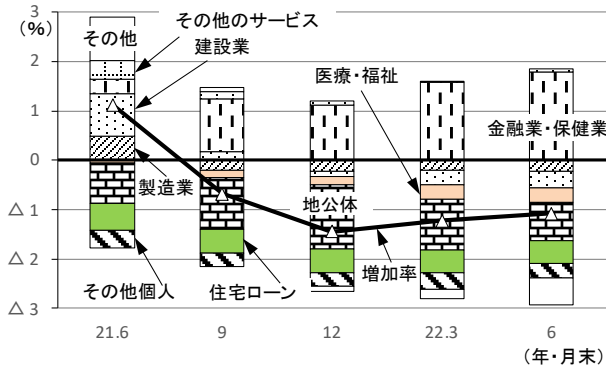
図表3は、信用金庫の貸出金増加率とその業種別寄与度の推移を11地区³の別に示したものである。なお、2022年6月末の増加率は、6地区（東北、関東、東海、近畿、四国、九州北部）でプラス、5地区（北海道、東京、北陸、中国、南九州）でマイナスとなっている。また、北海道、関東、北陸、四国、南九州の増加率は、同年3月末比を上回っている。

(図表3) 信用金庫の地区別貸出金増加率と業種別寄与度の推移

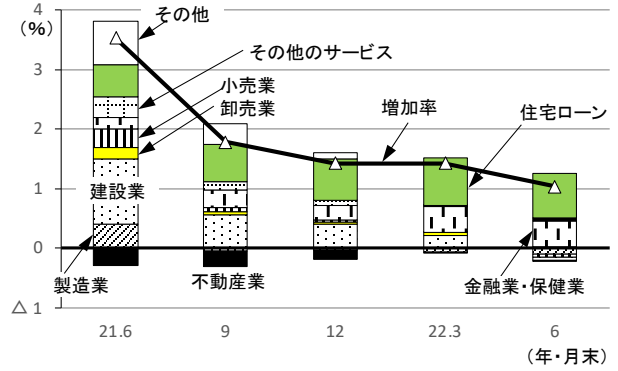


³ 信用金庫の地区区分は、関東は群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、長野の9県、東海は、静岡、愛知、岐阜、三重の4県、九州北部は福岡、佐賀、長崎の3県、南九州は熊本、大分、宮崎、鹿児島県の4県からなる。

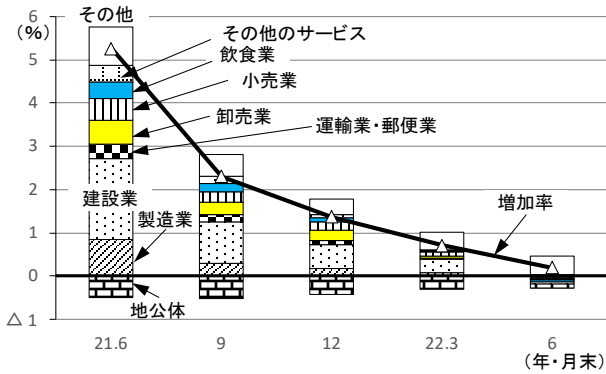
(図表3) (続き)
北陸



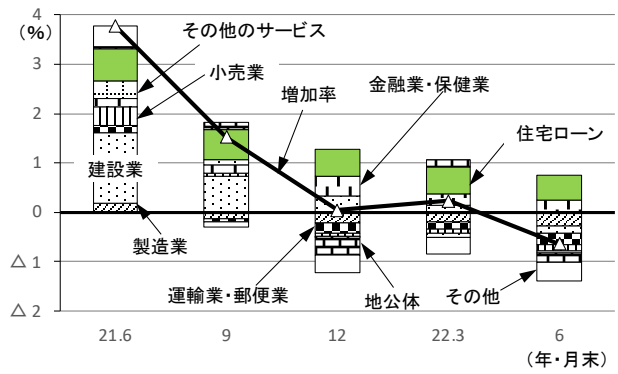
東海



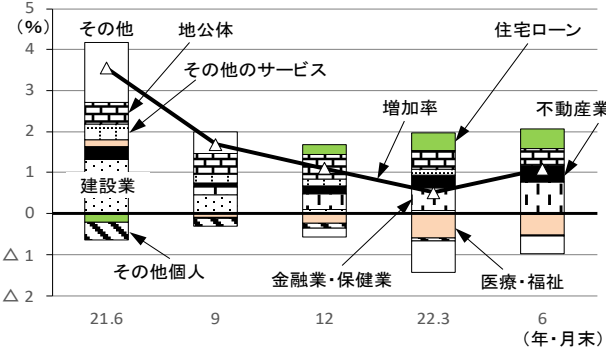
近畿



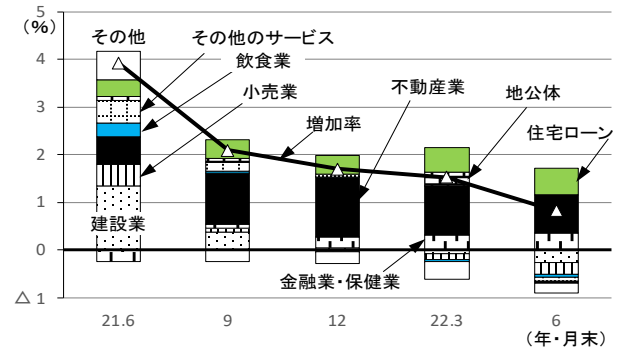
中国



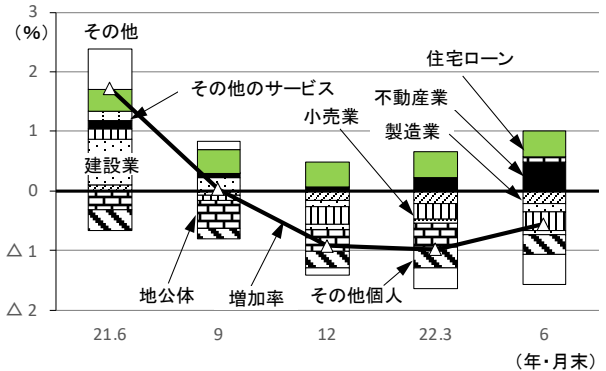
四国



九州北部



南九州



(備考) 1. 東北、北陸、四国、南九州にある「その他個人」は、個人向けの貸出金残高から住宅ローン残高を引いたもの
2. 図表4とも信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

図表 4 は、業種別（寄与度の絶対値が大きい 8 業種およびその他）の寄与度に着目しつつ、図表 3 でみられる各地区の 2022 年 6 月末の状況を示したものである。

（図表 4）各地区の業種別寄与度の状況（2022 年 6 月末時点）

北海道	寄与度（+）	不動産のみであり大きい。
	寄与度（-）	地方公共団体（以下「地公体」という。）が大きい。
東北	寄与度（+）	金融業・保険業、不動産が大きい。
	寄与度（-）	医療・福祉が大きい。
東京	寄与度（+）	不動産のみであり大きい。
	寄与度（-）	その他のサービスが大きい。
関東	寄与度（+）	住宅ローン、不動産が大きい。
	寄与度（-）	5 業種とその他に分散している。
北陸	寄与度（+）	金融業・保険業が大きい。
	寄与度（-）	地公体、住宅ローンが大きい。
東海	寄与度（+）	住宅ローン、金融業・保険業が大きい。
	寄与度（-）	3 業種とその他に分散しており、総じて小さい。
近畿	寄与度（+）	その他のみが大きく、建設業は小さい。
	寄与度（-）	7 業種に分散しており、総じて小さい。
中国	寄与度（+）	住宅ローン、金融業・保険業が大きい。
	寄与度（-）	地公体、製造業、運輸業・郵便業が大きい。
四国	寄与度（+）	金融業・保険業、住宅ローン、不動産、地公体が大きい。
	寄与度（-）	医療・福祉が大きい。
九州北部	寄与度（+）	不動産、住宅ローン、金融業・保険業が大きい。
	寄与度（-）	建設業、小売業が大きい。
南九州	寄与度（+）	不動産、住宅ローンが大きい。
	寄与度（-）	その他個人 ⁴ 、小売業が大きい。

地区別の寄与度の特徴をみると、不動産と住宅ローンは、全国と同様に多くの地区でプラスに寄与していた。

不動産は、8 地区（北海道、東北、東京、関東、東海、四国、九州北部、南九州）で上位 8 業種に該当した。2022 年 6 月末の寄与度は 8 地区すべてプラスであり、プラス幅の大きい地区も多くなっている。

住宅ローンも、8 地区（東京、関東、北陸、東海、中国、四国、九州北部、南九州）

⁴ 「その他個人」は、本稿で定義したもので、個人向け貸出金残高から住宅ローン残高を引いたもの

で上位8業種となった。うち2地区（東京、北陸）では2022年6月末の寄与度がマイナスであったものの、残る6地区では寄与度が大きなプラスとなっている。

金融業・保険業は、全国では上位8業種に該当しなかったが、6地区（東北、北陸、東海、中国、四国、九州北部）では該当し、かつ2022年6月末の寄与度は大きなプラスとなっている。特に北陸でのプラス幅が大きいものとなっている。

一方、建設業は、全11地区で上位8業種となったが、うち8地区で2022年6月末の寄与度がマイナスとなった。

製造業と小売業は、9地区で上位8業種となったが、2022年6月末の寄与度は、9地区すべてでマイナスであった。

その他のサービスは10地区、地公体は9地区で上位8業種となったが、2022年6月末の寄与度は、2業種ともに7地区でマイナスとなった。

おわりに

2022年6月末の信用金庫の貸出金増加率を支えている業種が、コロナ禍の影響をあまり受けなかった不動産業、住宅ローン、金融業・保険業であることが浮き彫りとなった。なお、こうした動きは、信用金庫の地区別、国内銀行（全国）いずれでも同様となっている。ただし、不動産業と住宅ローンは、従来から信用金庫の貸出残高に占めるウェイトが高い。また、貸出残高の伸びをリードする業種が3つに限られるというのはあまり理想的とは言えまい。コロナ禍のような非常時の特需ではなく、極端に高い増加率でなくともより前向きな資金需要が、多くの業種から生じてくるような経済状態の回復が待ち望まれよう。

以上
(間下 聡)

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。また当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこのレポートは作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。

【バックナンバーのご案内：金融調査情報】（2021年度・下期～）

号 数	題 名	発行年月
2021-20	最近の信用金庫と国内銀行の地区別貸出金増加率の動向	2021年10月
2021-21	地域金融機関による不動産の有効活用 - 発注者支援の手法も活用した川崎信用金庫の事例 -	2021年10月
2021-22	大和証券グループのSDGsへの取り組み	2021年12月
2021-23	信用金庫の個人ローン残高の動向	2021年12月
2021-24	やさしく読み解くSDGs（3） - ESG投資の潮流と今後の課題 -	2022年1月
2021-25	地域金融機関による補助金申請支援の取組事例 - 外部専門家活用によるノウハウ蓄積から有料化へ -	2022年1月
2021-26	経営指標の変化から見えるコロナ禍含む3年間の 信用金庫業界の構造変化	2022年1月
2021-27	三島信用金庫の共同店舗化への取り組み	2022年3月
2021-28	信用金庫のベテラン層向けリカレント教育について - 株式会社ライフシフトの取り組み -	2022年3月
2022-1	灰色のサイー不動産バブルの持続的拡大と中国債務の現在 -	2022年4月
2022-2	「従業員エンゲージメント」の改善策について	2022年4月
2022-3	「越境学習プログラム」への取り組みについて	2022年4月
2022-4	最近の信用金庫と国内銀行の不動産業向け貸出と不動産価格の 動向	2022年4月
2022-5	2021年度の全国信用金庫主要勘定状況（速報） - 預金は2.1%増、貸出金は0.4%増 -	2022年5月
2022-6	DX人材育成への取り組みについて	2022年6月
2022-7	人口減少・少子高齢化時代の取引先支援策について	2022年6月
2022-8	健康管理アプリ導入による健康経営への推進強化策について	2022年6月
2022-9	地域銀行の食品ロス削減支援への取り組みについて	2022年6月
2022-10	最近の信用金庫と国内銀行の地区別預貸金増加率の動向	2022年8月
2022-11	改めて考える「女性活躍の推進」とは何か - 過去・現在から未 来へ	2022年8月

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 活動状況 (2022年7月実績)

○レポート等の発行状況

発行日	レポート分類	通巻	タイトル
22.7.1	ニュース&トピックス	2022-37	信用金庫の個人ローン残高の動向(2021年度末)
22.7.1	ニュース&トピックス	2022-38	信用金庫の住宅ローン残高の動向(2021年度末)
22.7.1	ニュース&トピックス	2022-39	信用金庫のカードローン等残高の動向(2021年度末)
22.7.1	ニュース&トピックス	2022-40	信用金庫の地公体向け貸出の動向(2021年度末)
22.7.1	ニュース&トピックス	2022-41	信用金庫の事業性貸出金残高の動向(2021年度末)
22.7.4	ニュース&トピックス	2022-42	信用金庫の定期預金残高の動向(2021年度末)
22.7.4	ニュース&トピックス	2022-43	信用金庫の定期積金残高の動向(2021年度末)
22.7.4	ニュース&トピックス	2022-44	信用金庫の不動産業向け貸出の動向(2021年度末)
22.7.4	ニュース&トピックス	2022-45	信用金庫の事業性貸出先数の動向(2021年度末)
22.7.4	ニュース&トピックス	2022-48	「地方公共団体実行計画制度」の実効性の確保に向けて
22.7.4	内外金利・為替見通し	2022-4	日銀は強力な緩和策を継続すると見込まれ、イールドカーブを低位安定へ
22.7.5	ニュース&トピックス	2022-49	脱炭素社会の実現に向けて期待される企業の「脱炭素経営」
22.7.11	ニュース&トピックス	2022-50	シアターラーニング研修について
22.7.13	ニュース&トピックス	2022-53	信用金庫の女性職員比率の動向(2021年度末)
22.7.13	ニュース&トピックス	2022-54	信用金庫の個人預金口数の動向(2021年度末)
22.7.13	ニュース&トピックス	2022-55	信用金庫の個人向け貸出先数の動向(2021年度末)
22.7.13	ニュース&トピックス	2022-56	信用金庫の医療・福祉向け貸出の動向(2021年度末)
22.7.13	ニュース&トピックス	2022-57	2022年6月末の信用金庫の預金・貸出金動向(速報) -預金は1.7%増、貸出金は0.1%増-
22.7.13	産業企業情報	2022-8	ポスト・コロナを見据えた「脱炭素」の実現に向けて④ -企業における「脱炭素経営」の促進に向けて-
22.7.14	ニュース&トピックス	2022-58	「新しい資本主義」で期待されるセキュリティトークンの活用
22.7.15	中小企業景況レポート	188	4~6月期業況は2四半期ぶりの改善 【特別調査-混迷する経済社会情勢と中小企業経営】
22.7.15	産業企業情報	2022-9	ポスト・コロナを見据えた「脱炭素」の実現に向けて⑤ -「地域脱炭素」に向けた地球温暖化対策の推進-
22.7.19	ニュース&トピックス	2022-59	中小企業における価格転嫁は道半ば、販売価格の引上げが不可欠 -全国中小企業景気動向調査の結果から-
22.7.25	ニュース&トピックス	2022-60	グリーンボンドガイドライン等(2022年版)の改訂のポイント
22.7.28	産業企業情報	2022-10	生の声から読み解く中小企業の実態 -全国中小企業景気動向調査(2022年4-6月期)より-

○講演等の実施状況

実施日	講演タイトル	主催	講演者等
22.7.7	主要経済指標の見方	さがみ信用金庫	奥津智彦
22.7.7	信用金庫の歴史と最近の動向	目黒信用金庫	刀禰和之
22.7.13	ウクライナ・ロシア紛争は中小企業に何をもたらすのか?	大分県中小企業家同友会中津支部	鉢嶺 実
22.7.30	信用金庫業界のネットワークを活用した地域活性化への取り組み	地域デザイン学会	大野英明

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号
 TEL: 03-5202-7671 (ダイヤルイン) FAX: 03-3278-7048
 e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp
 URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/> (信金中央金庫)
<https://www.scbri.jp/> (地域・中小企業研究所)